

# 2013 年度の活動

回数 (通算)	月日	報告者	報告題目
1 (138)	5/22	坂東 雄介 (小樽商科大学准教授)	外国人の退去強制と仮の権利救済—平成 16 年行政事件訴訟法改正以降の動向を中心として
2 (139)	6/26	吉澤 卓哉 (小樽商科大学大学院アントレプレナーシップ専攻准教授)	海外直接付保規制の在り方について—海外保険者に対する規制構造の観点から—
3 (140)	7/19	根本 尚徳 (北海道大学大学院法学研究科准教授)	適格消費者団体による包括的差止請求・条項改訂請求の可否—差止請求権の請求内容に関する序論的考察をも兼ねて—
兼 北海道大学民事法研究会			
4 (141)	7/31	田中 一樹 (小樽商科大学大学院修士 2 年)	学校教育という聖域への挑戦—行政事件訴訟の活用による『指導が不適切な教員』の法的排除—
兼 修士論文中間報告会			
5 (142)	11/8	梅島修 (ホワイト&ケース外国法事務所弁護士事務所パートナー・外国法事務所弁護士)	TPP 交渉の北海道経済への影響について
兼 地域研究会：グローバル経済部門研究会			
6 (143)	1/25	坂東 雄介 (小樽商科大学准教授)	オーストラリアにおける外国人の長期被收容者の法的地位—Al-Kateb v Godwin 判決を素材として
		今本 啓介 (新潟大学法学部法学科准教授)	共有不動産の持分に対する差押処分取消訴訟における他の共有者の原告適格
兼 北海道大学公法研究会			
7 (144)	2/19	増田 涼平 (小樽商科大学大学院修士課程)	租税回避行為否認の研究—映画フィルムリース事件と航空機リース事件の比較検討—
<p>■ 幹事：小倉 一志／永下 泰之</p> <p>■ 肩書は当時（敬称略）</p>			